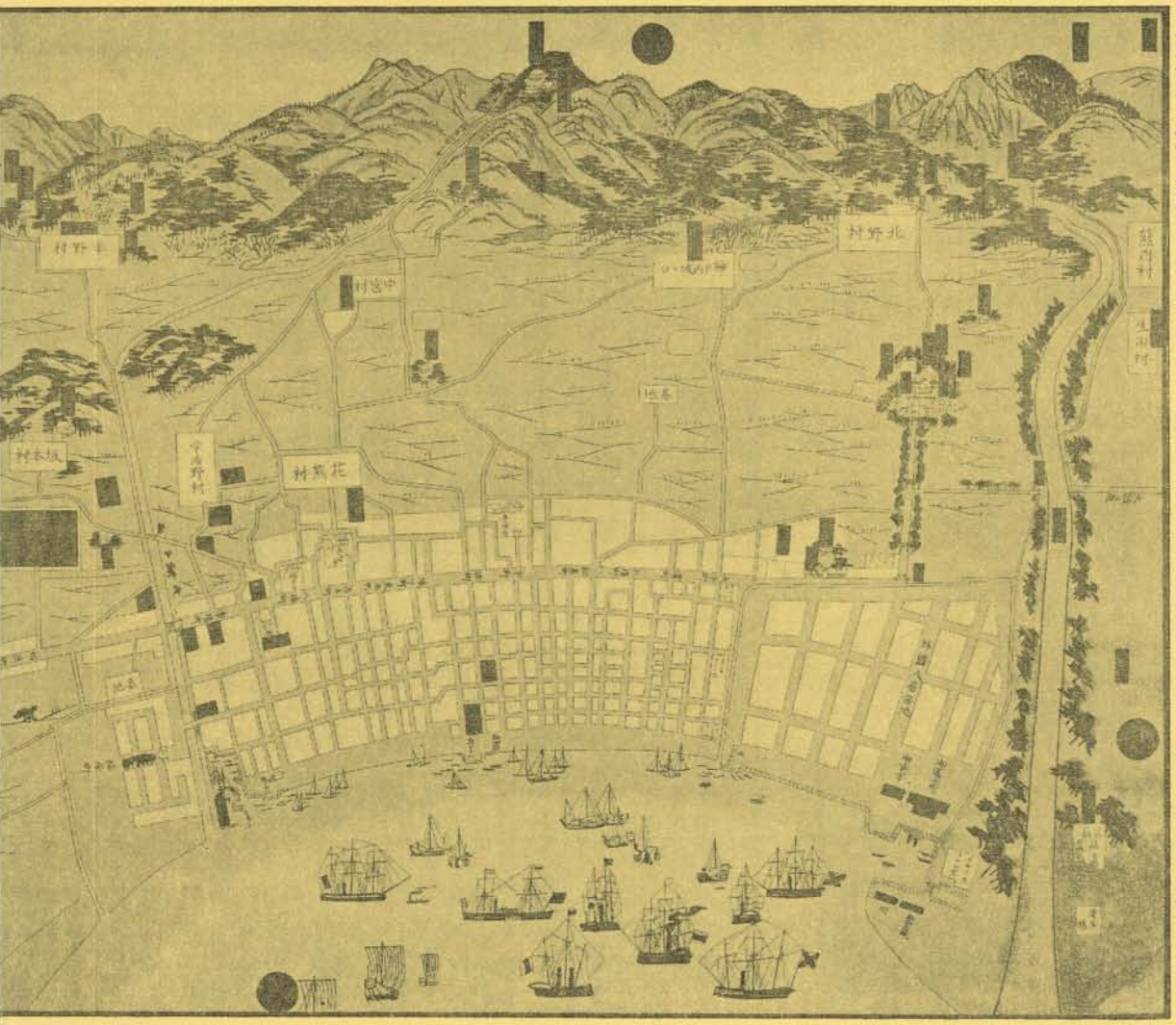
神戸の歴史ノート

改訂版

田辺眞人編著



神戸深江生活文化史料館

はじめに

1. 神戸の歴史を学ぶ意味

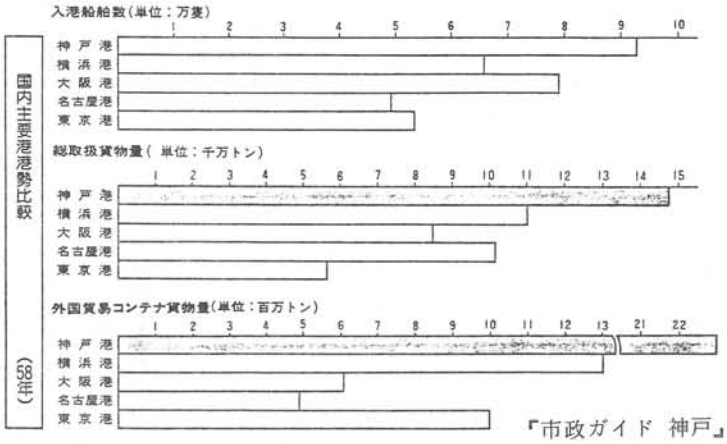
人間個有の知識欲をみたすだけでなく、歴史は未来への指針を与えてくれます。人間は経験によって多くを学び、経験は過去つまり歴史の中に横たわっています。ニュータウンやポートアイランドに象徴される伸びゆく神戸。このような進歩の時こそ、未来への正しい展望を得るために、神戸の歴史をふり返る必要があります。

2. プロフィール ——今日の神戸——

(1) 日本の大都市の中で神戸の位置を考えてみよう。

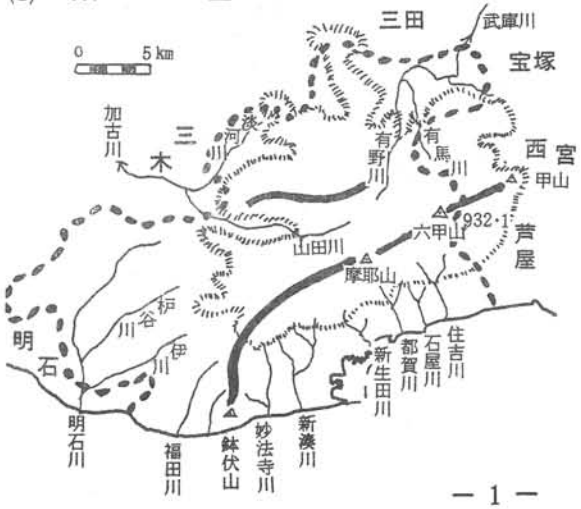
○昭和59年5月1日現在（『市政ガイド こうべ』より）

	km²	人		km²	人
神戸市	543.58	1,400,583	京都市	610.61	1,485,055
札幌市	1,118.01	1,511,630	大阪市	212.10	2,629,135
東京・区部	596.23	8,376,191	広島市	676.15	924,118
川崎市	142.63	1,075,050	北九州市	477.68	1,059,894
横浜市	429.89	2,925,877	福岡市	335.64	1,147,453
名古屋市	327.91	2,103,460			

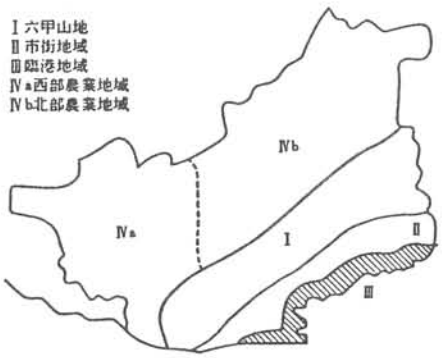


『市政ガイド 神戸』より

(2) 神戸の地形と土地の利用を考えてみよう。



地域区分



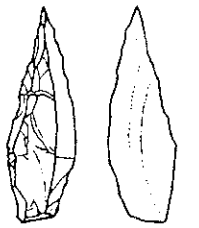
I　近代に至るまで

1. 先史時代

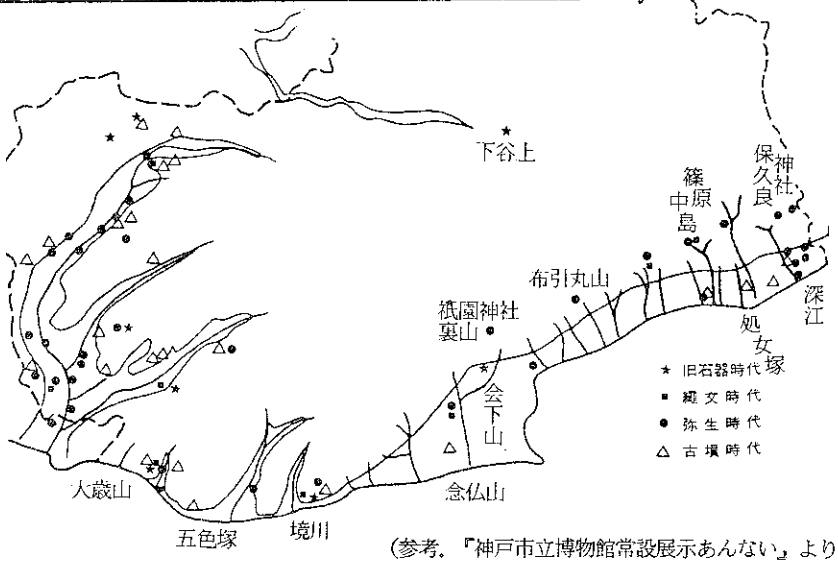
六甲南麓の陽当りのよい傾斜地を中心に、旧石器・縄文時代から祖先の狩猟生活が営まれていました。弥生時代には市域に広く農耕社会が展開し、当時の有力者の宝・祭器でもある銅鐸も多く出土しています。さらに経済は発展し、各地の豪族は、古墳を築きました。

○ 代表的遺跡

旧石器時代	弥生時代(B.C.300～)	古墳時代(A.D.300～)
明石市西八木 兵庫区会下山 北区下谷上	初期稲作 篠原・住吉 玉津吉田 伊川谷上脇	前　期 ヘボソ塚・夢野丸山 頓田山・得能山
縄文時代 B.C. 8000～	高地性集落 金鳥山・伯母野山 布引丸山・祇園裏山 大日寺裏山・鉢伏山	中　期 東求女塚・処女塚 西求女塚・五色塚
大歳山 篠原中島 元住吉山	銅鐸出土地 森　生駒　渦ケ森 桜ケ丘　投ケ上	後　期 舞子墓園・長尾山 芦屋市八十塚



会下山出土のナイフ型石器



(参考、『神戸市立博物館常設展示あんない』より)

2. 古　　代

大和政権によって国土は統一され、律令国家が完成すると、神戸は畿内の西端に位置し、港都としての重要性がはじまります。敏馬の浦から大輪田ノ泊へ港は移動します。班田収授が行われ、条里制のあとも市街地に多く残っています。

平安末期に、大輪田ノ泊を大改修した平清盛は、この地に都も移してきました。

(1) **大宝律令の地方制度**・710　大化改新の詔　646.1.1 ← 645.6 ～ 大化改新

公地公民、班田収授、租・調・庸制とともに

地方制……国ー郡ー里　「凡畿内　東ハ名墾ノ横河ヨリ以来　南ハ紀伊ノ兄山ヨリ以来、
西ハ赤石ノ櫛淵ヨリ以来　北ハ近江ノ狭々波ノ合坂山ヨリ以来」

摂津国
- 菟原郡 ── 賀美・芦屋・佐才・住吉・覚美・天城・津守・布敷
- 八部郡 ── 生田・神戸・宇治・八部・長田
- 有馬郡 ── 忍壁上・忍壁下・羽束・大神・幡多・春木

播磨国
- 明石郡 ── 葛江・明石・住吉・神戸・邑美・垂見・神戸
- 美嚢郡 ── 志深・高野・平野・吉川

(2) **風土記の編集**　713 ← 710　平城遷都

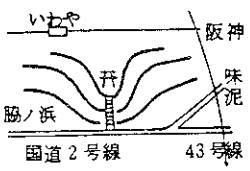
敏馬の神社の説話　　cf 「法隆寺流記資財帳」天平19年
(八田部郡) 宇奈吾岳

夢野の鹿の説話　　東限弥奈刀川　南限加須加多池
西限凡河内寺山　北限伊米野

(3) **国際港都のはじめ**

○ 神話時代……務古の泊(現、西宮市)が説話によく登場

○ 奈良時代……「万葉集」に歌われた敏馬の浦は、灘区敏馬神社付近

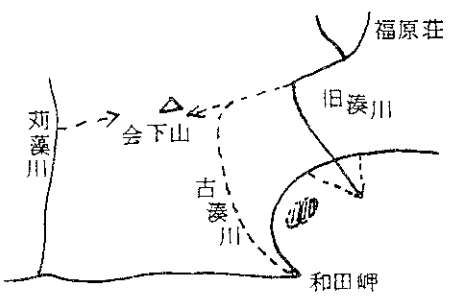


- まそ鏡敏馬の浦は百船の過ぎて往くべき浜にあらなくに (田辺福麻呂)
- 珠藻刈る敏馬を過て夏草の野島が崎に船近づきぬ (柿本人麻呂)
- 朝されば妹が手にまく鏡なす御津の浜びに大船に真楫しじぬき
韓国に渡り行かむと直向ふ敏馬をさして潮待ちて・・・・・・・・

摂播五泊ノ制で港は大輪田ノ泊へ。

川尻 ── 大輪田 ── 魚住 ── 韓 ── 樫生

○ 平安末期……平清盛による大改修と福原遷都のころ。



1156 保元の乱、　1159 平治の乱

1167 太政大臣平清盛

○塩槌山を削り、築島建設の伝説
経ケ島、来迎寺

1180 清盛に対する南都北嶺の反抗

1180.6.2 福原遷都の命令
頼盛の山荘へ……安徳天皇
清盛の雪の御所へ……高倉上皇
熊野町、北野町の由来、和田京計画を調べよう。

1180.8 源頼朝の挙兵
9 源義仲　〃
10 富士川の戦い
11 平安遷都の命令

1181 清盛死亡

3. 中　　世

律令国家はゆきづまり、荘園制が発達し、開発も進みました。西国から畿内への入り口に位置した神戸は、武家の世の中で、いく度も戦乱にまきこまれました。一の谷の戦い、湊川の戦い、花熊合戦など日本史を決した大きな戦いが、神戸を舞台に戦われました。私たちの祖先は田畑を荒されながらも、村を作り、結束を固めていきました。

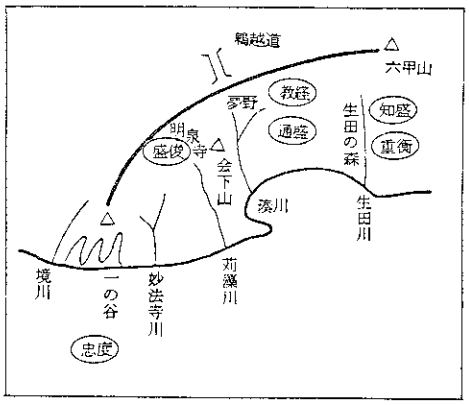
(1) 源 平 合 戦

木曽義仲の進撃　　1183 平氏の都落ち

1183　上洛するが、源氏分裂 ── 義経・範頼、鎌倉から進撃。

1184. 1. 26 平氏、福原・兵庫へ。

2. 7 「一ノ谷の戦い」について『平家物語』を読んでみよう。

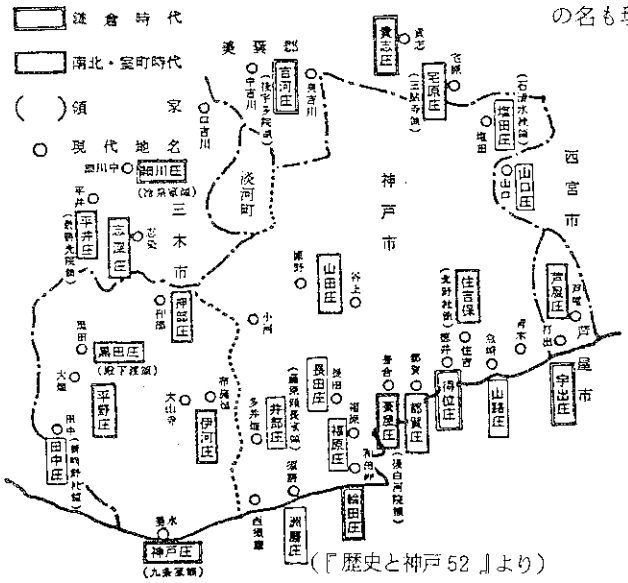


「湊河・苅藻川をもうち渡り、駒の林を弓手になし蓮の池をば馬手にみて板屋ど、須磨をもうちすぎて西をさいてぞ落ちたまふ　（『平家物語』）」
平重衡の逃走（山陽道）

(2) 荘園開発すすむ

○ 神戸市域を中心にした荘園分布図　　鎌倉時代 1192～
（竹内理三氏による）

兵庫上ノ庄・中ノ庄・下ノ庄の名も現われる。


平安時代
鎌倉時代
南北・室町時代
( )領家
○ 現代地名
美嚢郡
三木市
淡河町
神戸市
西宮市
芦屋市
神戸庄
宇治庄
山口庄
宇出庄
山田庄
長田庄
福原庄
輪田庄
洲原庄
伊河庄
平野庄
田中庄
平井庄
神部庄
細川庄
井部庄
得位庄
山路庄
住吉庄
菅原庄
(九条家領)
(摂関家領)
(摂関家領)
(摂関

(3) 南北朝の動乱

元寇ののち、動揺する鎌倉幕府

1331　元弘の変　　失敗した後醍醐天皇、隠岐に流される。

1332　河内の楠木正成、吉野の護良親王らの蜂起。

1333・1　赤松則村(円心)播磨で挙兵。 ── 摂津摩耶山城へ。

2　「摩耶山合戦」について『太平記』を読んでみよう。

5　鎌倉幕府滅亡

建武の新政（1334～）

1335　中先代の乱を機に尊氏挙兵 →

1336・6　湊川の戦い　←

1336・1　京都の戦い

2　打出合戦　　尊氏、敗れて九州へ

4　都へ出発

- 正成戦死、義貞敗走
- 尊氏上洛

足利幕府成立（1338　尊氏征夷大将軍となる）←→ 1336・12～南北朝分裂

1338　和坂の戦い　　赤松則村と金谷兵庫助＝丹生山明要寺

1339　シブレ山・端谷城の戦い　　赤松則祐

1350～2　観応の擾乱 ── 1351・2　打出・御影浜の戦い　　尊氏敗れ、松岡城へ

(4) 室 町 時 代

播磨守護赤松範資、摂津守護も兼ね、多々部城きずく。

このころ兵庫ノ津、遣明船でにぎわう。

播磨国一揆のあと、嘉吉の乱で赤松氏衰退。 → 山名持豊、播磨守護となる。

1467～77　応仁の乱　　管領細川勝元と山名氏闘争。

1469　山名是豊の侵入で兵庫ノ津焼失、1481～ 外国船来ず。

戦 国 時 代

摂津は下剋上で、将軍 ── 細川氏 ── 三好長慶 ── 松永久秀と権力交代。

東播では、間島氏（福中城）、明石氏（枝吉城）、衣笠氏（枦谷城）ら割拠。

1554　三好長慶、東播進出。

1566　布引滝山城(松永氏)攻撃に東播勢。

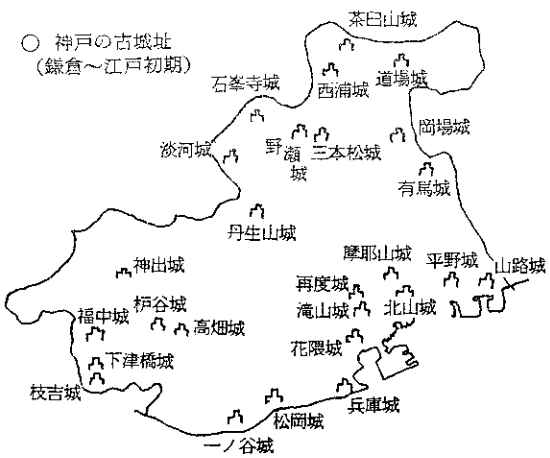
1574　織田信長、摂津攻略。東播では三木の別所氏の成長。

1570　羽柴秀吉の三木攻め。

1580　花熊城攻撃

1582　本能寺の変

1583　近在は、秀吉領に。



4. 近　　世

豊臣秀吉の天下統一と江戸幕府の成立で、泰平の世となり、農業が進歩し、六甲南麓では石材切り出しや水車業が発展しました。菜種油・そうめん・酒造りがさかんになりました。初め主に尼崎藩領だった神戸地方は、やがて１８世紀半ばに多くは天領となりましたが、西神戸は明石藩領でした。西国街道と兵庫の湊で、神戸は交通の要地となり、古典の地須磨には多くの文人が来訪しました。

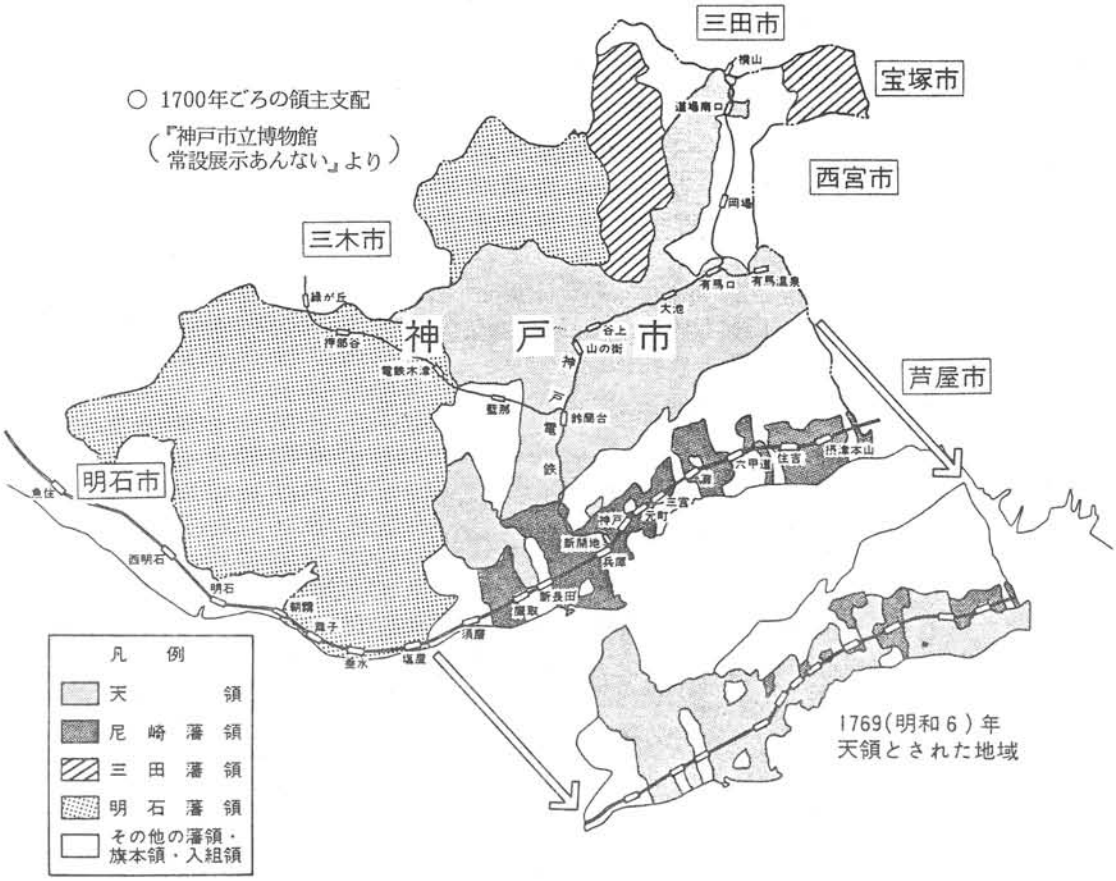
やがて幕末には開港場となった神戸は、あわただしく明治維新を迎えました。

(1) 幕藩体制の下で

○尼崎藩　1617　戸田氏鉄
　　1635　青山幸成ー幸利ー幸督ー幸秀
　　1711　松平忠喬ー忠名ー忠告ー忠宝ー忠誨ー忠学ー忠興

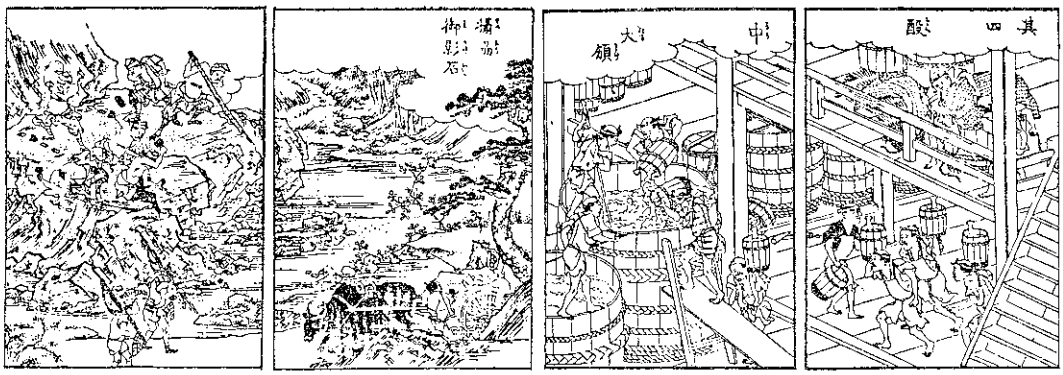
○明石藩　1585　高山右近→1587 姫路の池田輝政の支配
　　1617　小笠原忠真の明石城 ── 1633 松平康直ー光重 ── 1639 大久保忠職
　　1649　松平忠国ー信之 ── 1679 本多政利 ── 1682 松平直明ー直常ー直純ー直泰ー直之ー直周ー斉韶ー斉宜ー慶憲ー直致

○三田藩　1626　松平重直
　　1633　九鬼久隆ー隆昌ー隆律ー副隆ー隆久ー隆抵ー隆由ー隆邑ー隆張ー隆国ー隆徳ー精隆ー隆義



(2) **産業・交通**　近世の神戸の産物や交通について調べてみよう。

○石、菜種油、そうめん、酒



（寛政11年・1799の『日本山海名産図会』より）

○農業の発展のようすを、下の表から考えてみよう ――― 新田開発と技術進歩

（単位：石）

年次 / 村名	元和3（1617）摂津一国高御改帳	正保3（1646）郷帳	元禄15（1702）郷帳	享保20（1735）摂津国石高調	天保年間（1830~44）郷帳	明治元（1868）旧高旧領取調帳
西須磨	436.827	453.25	466.358	505.513	506.326	506.326
多井畑	371.6	371.6	371.6	373.4472	377.2484	377.2484
東須磨	891.16	891.167	955.729	1020.560 2.7 新開	1024.941	1024.941
大手	304.636	304.636	304.636	306.293	306.293	306.293
板宿	484.07	484.074	542.125	542.402	542.402	542.912
妙法寺	275.84	275.84	380.103	380.103 8.485除地	388.912	388.912
車	244.109	245.309	273.608	273.728 0.178除地	274.250	274.250
白川	219.721	219.721	240.764	241.164 1.122除地	242.286	242.286

(3) **開　　港**

1854　日米和親条約　　1858　日米修好通商条約

1854.9～55.9　網屋吉兵衛 船燈場きづく

1863.4　14代将軍 家茂の大阪湾巡視

4.21　〃　小野浜に上陸

勝海舟　海軍操練所提案

1864.5.29　生徒募集

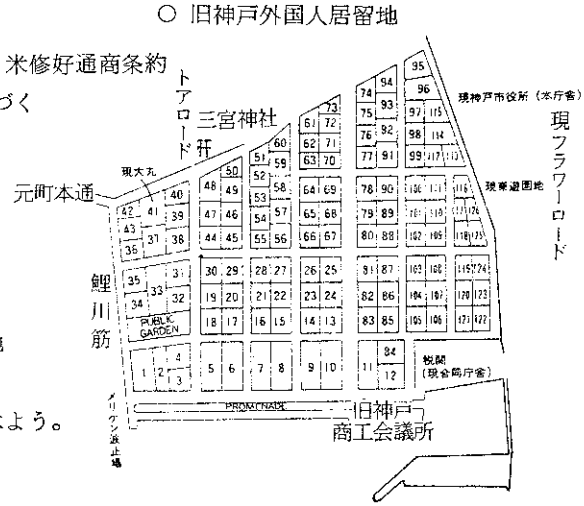
1865.3.19　廃止

1868.1.1　開港式（運上所）と居留地

幕末のバイパス徳川道

1.11　「神戸事件」について調べよう。

○ 旧神戸外国人居留地



(4) **江戸時代の神戸のようす**（『摂津国名所旧跡細見大絵図』天保七年より）

○山・川、村名、社・寺、名所などを今の地名と比較して考えてみよう。

○西国街道の道すじを、今の地図の上でも考えてみよう。

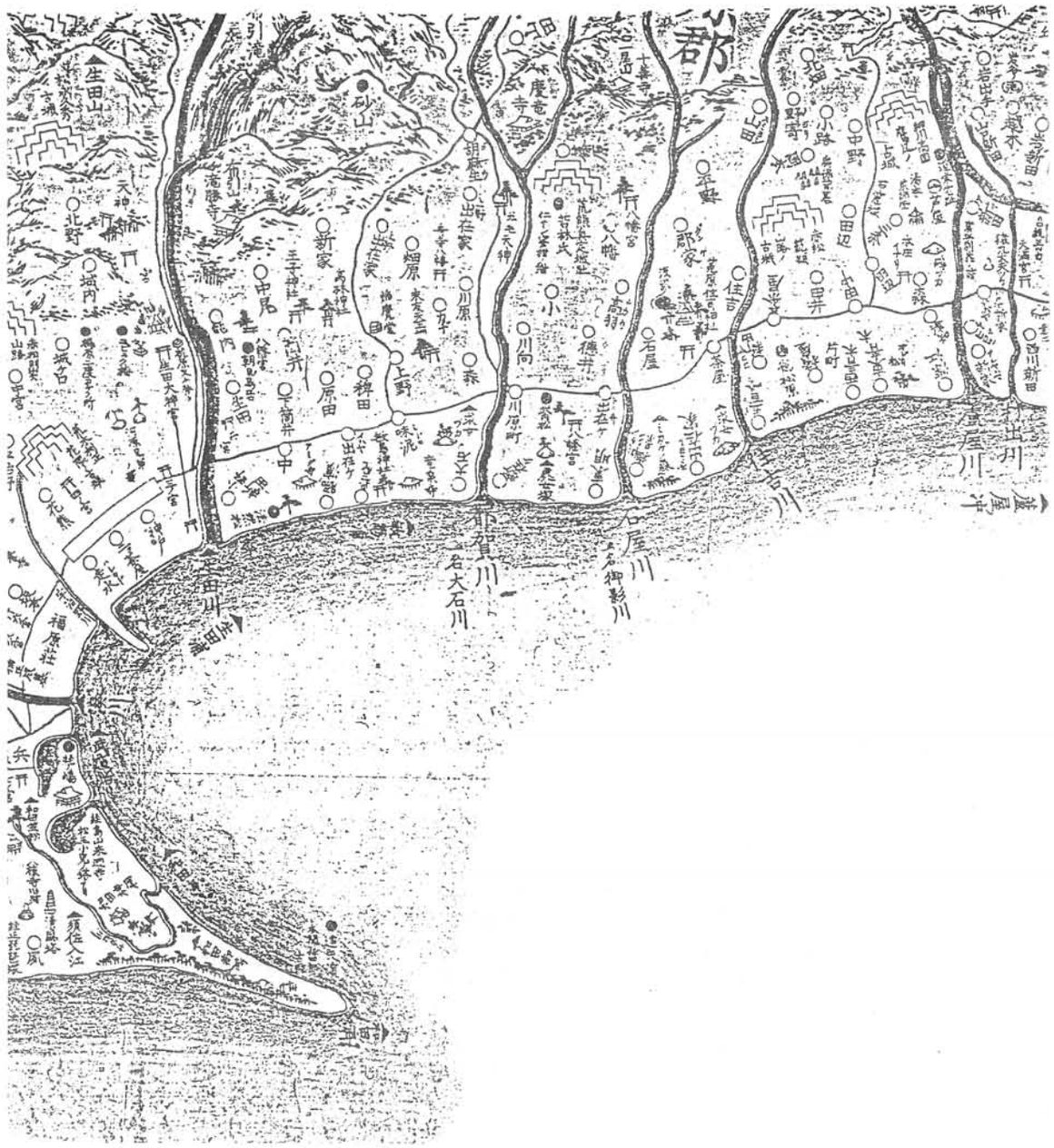
○抜け荷の魚屋道

寛文１２年（1672）～小浜・伊丹・尼崎・生瀬などの商人と対立

文化３年（1806）「往還同様ニいたし道筋ヲ日々中馬諸荷物旅人駕籠等抜通リ候ニ付、私共駅所差支ニ相成」

(4) **江戸時代の神戸のようす**（『摂津国名所旧跡細見大絵図』天保七年より）

○山・川、村名、社・寺、名所などを今の地名と比較して考えてみよう。



○西国街道の道すじを、今の地図の上でも考えてみよう。

○抜け荷の魚屋道

寛文１２年（1672）～小浜・伊丹・尼崎・生瀬などの商人と対立

文化３年（1806）「往還同様ニいたし道筋ヲ日々中馬諸荷物旅人駕籠等抜通リ候ニ付、私共駅所差支ニ相成」

Ⅱ　近代以降

1.　神戸市の誕生と成長　―― 明治時代 ――

大政奉還・王政復古ののち、天領は兵庫県となり、やがて廃藩置県と地方制の進展によって現在の兵庫県へと発展します。このあたりでは「郡区町村編成法」によって明治12年に神戸区ができ、やがて、明治22年、市制町村制によって、神戸市が産ぶ声をあげました。

文明開化・富国強兵をスローガンとした明治政府のもとで、商都大阪に近い港神戸も、明治時代には大発展し、近代都市の様相を整えました。

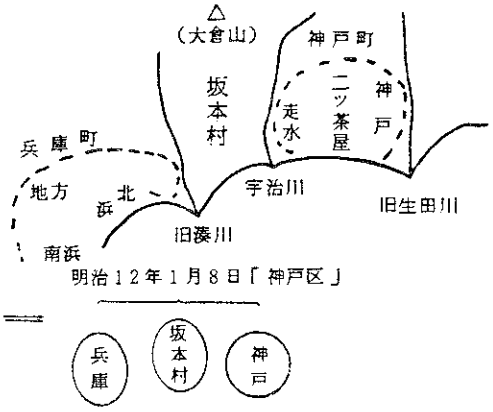
(1)　産ぶ声をあげるまで

明治1年9月
旧天領兵庫県
となる

明治7～10年
自由民権運動
|
政治制度の近代化
↓
明治11年7月
「郡区町村編成法」
富国強兵、殖産興業政策

兵庫商法会議所

明治1年11月



人口　35,000人

明治4年
改正戸籍法
25,000人

殖産政策進ん

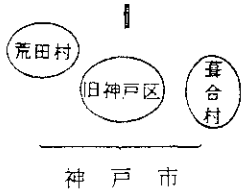
明治17年
桟橋・倉庫

明治21年
電　灯

(2)　「神戸市」誕生

明治21年4月17日
法律第1号公布
「市制及び町村制」

明治22年2月2日
神戸、市制地となる
明治22年4月1日
人口135,000人

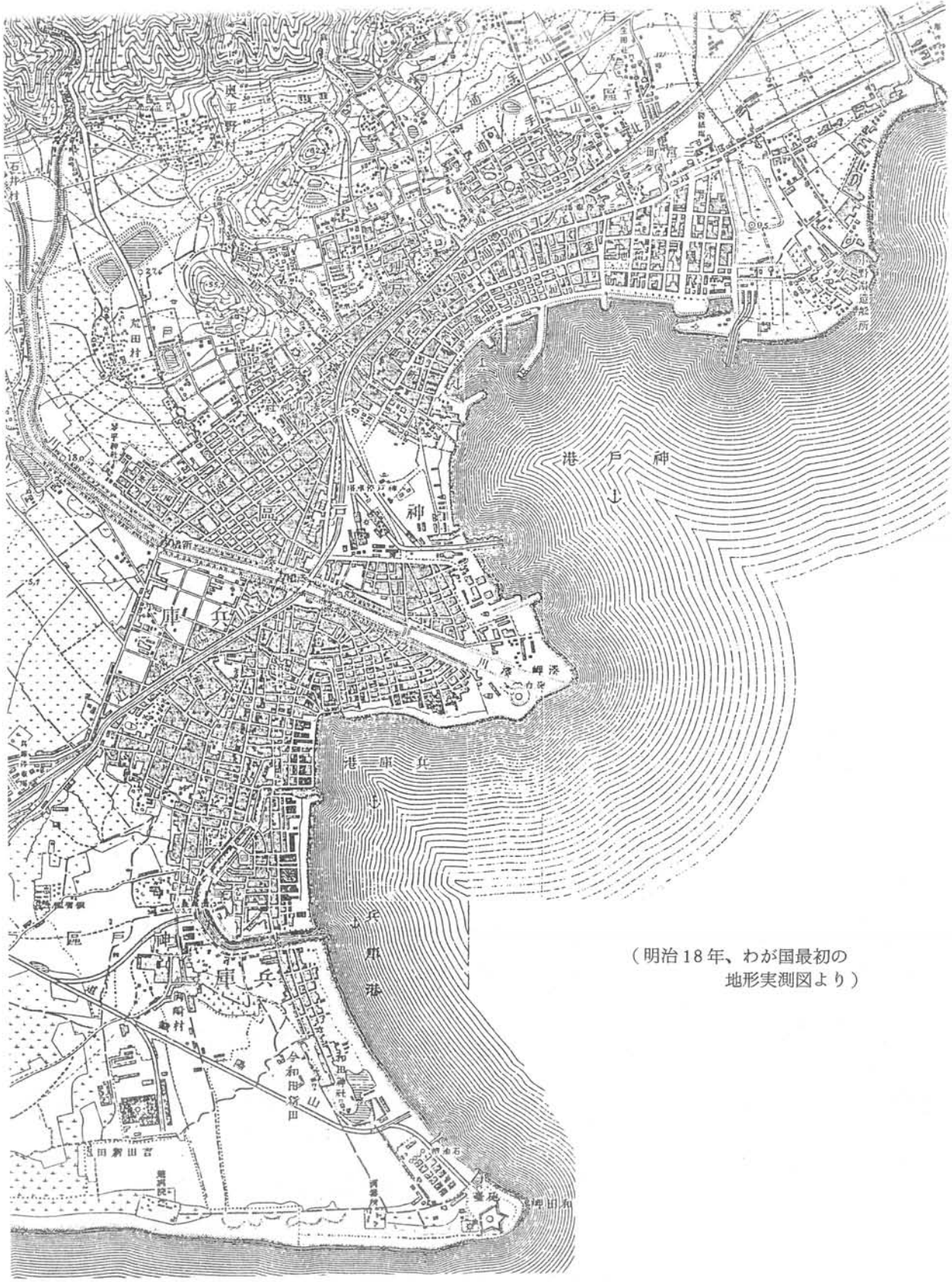


明治22年　東海道線全通

明治22年
大日本帝国憲法の発布

○明治19年12月31日現在　市制施行地の人口（明22.2.9　又新日報による）

東京	112万1883人	水戸	11万9010人	秋田	2万9225人	和歌山	5万4868人
京都	24 5675	津	1 5884	福井	3 7376	徳島	5 7456
大阪	36 1694	名古屋	13 1492	金沢	9 7653	高松	3 7698
堺	4 4015	静岡	3 6838	富山	5 3556	松山	2 9487
横浜	8 9545	仙台	6 1709	高岡	1 7974	高知	3 0987
神戸	8 0446	盛岡	3 0166	松江	3 3381	福岡	4 2517
姫路	2 2677	弘前	2 8170	岡山	3 2989	久留米	2 0907
長崎	3 8229	山形	2 6971	広島	8 1914	熊本	4 4384
新潟	4 0778	米沢	2 9203	赤間関	3 0825	鹿児島	4 5097



（明治18年、わが国最初の
地形実測図より）

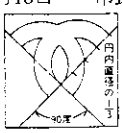
(3) 揺り籠の中で

明治27年～28年
日清戦争
明治37年～38年
日露戦争
産業革命
近代工業

明治29年　湊村・林田村・池田村の併合
（以後25年境界不変）
明治42年　市庁舎落成
（橋通現存）
この時、議員42名
吏員415名

明治26年　電話局74戸加入
明治29年～34年
湊川つけかえ工事
明治32年　ペスト大流行
明治33年　上水道完成
明治38年　阪神電車、滝道へ
（昭和11年3月から岩屋より地下へ）
明治40年～大正11年
第一期工事
1～4突堤完成
明治43年　兵庫電気軌道開通
春日野道～兵庫に市電も

明治39年　懸賞で市の徽章図案募集
京都　久江長兵衛
↓「カウベ」のカ字に拠り又港形を象る。
明治40年5月13日　市長告示



マッチ輸出高表

明治	数量 ガトン	金額 万円
10	—	—
11	—	20,400
12	—	83,588
13	—	369,672
14	13,322	249,758
15	1,775	39,239
16	194	3,165
17	194	2,791
18	3,768	60,565
19	24,366	378,028
20	67,680	941,579

（『ながたの歴史』より）

綿糸輸入高

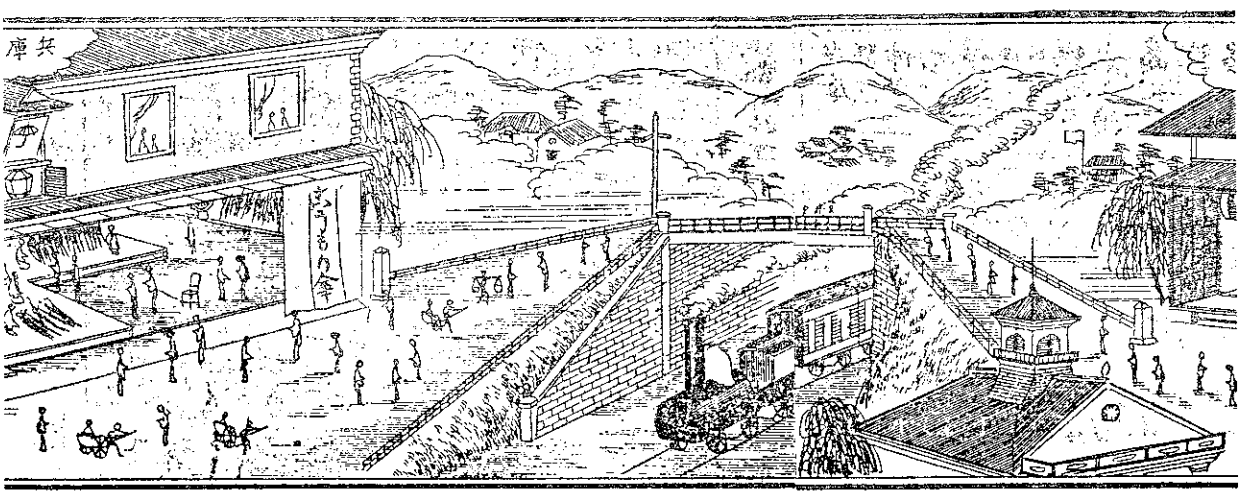
明治	輸入 万梱	輸出 万梱
23	106,361	31
24	57,762	108
25	81,025	109
26	64,684	1,053
27	53,143	11,795
28	48,637	11,776
29	66,713	43,249
30	53,636	140,116

（『私たちの神戸』より）

明治20年までの神戸港貿易の推移

	輸出			輸入			輸出入総額		
	全国	神戸	対全国比率	全国	神戸	対全国比率	全国	神戸	対全国比率
明治	万円	万円	%	万円	万円	%	万円	万円	%
1	1,555	44	2.8	1,069	68	6.4	3,624	113	3.1
5	1,702	199	11.7	2,617	441	16.9	4,320	640	14.8
10	2,334	465	10.0	2,742	425	15.5	5,076	891	17.6
15	3,772	651	17.3	2,944	637	21.6	6,716	1,289	19.2
20	5,240	1,277	24.4	4,430	1,385	31.3	9,671	2,662	27.5

○ 明治初年の神戸風景（『湊の魁』より）── 相生橋



2. 経済発展・デモクラシーと神戸　　―大正時代―

近代化が進み、第1次世界大戦はわが国を列強の一つに押しあげました。しかし戦中の経済発展も終戦とともにいきづまり、不況の波にのまれていきます。この時期、生活の西欧化も進み電気・洋服・映画が普及、湊川公園・新開地がにぎわい、神戸市は、須磨町を合併しました。

大正デモクラシーは、米騒動や川崎・三菱大争議などダイナミックな神戸の歴史を展開しました。

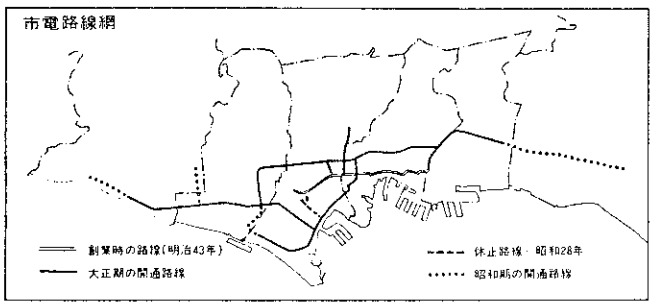
(1) 神戸の発展と第一次世界大戦

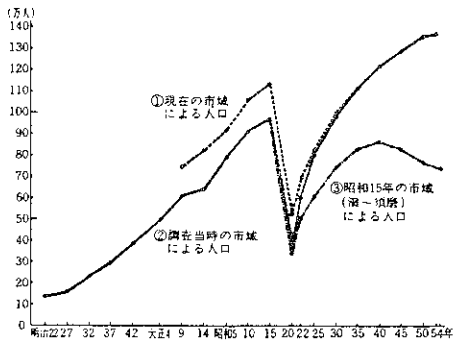
大正2年　聚楽館

大正3年8月　第一次世界大戦　～　大正8年　市勢急上昇

海運界の好況、鈴木商店繁栄。物価上る。船成金出現。

大正6年　～　市営電気事業・・・・・電車・電灯





資料：企画局

(『花時計からの報告'79』より)

(2) 須磨町併合

大正6年末　　神戸市区改正調査委員会案でる

大正7年3月　　京都府視察

8月　　市より正式に申入れ ― 須磨町会内の対立

大正8年11月　　反対派の署名

12月　　有吉知事の仲介

大正9年1月15日　知事、市町会へ編入を諮問

2月2日　市会での紛争、須磨町編入諮問調査委員会の紛争

4月1日　神須合併

10月1日　第1回国勢調査　人口608,644人

(3) 大戦後の混乱

大正7年8月　米騒動　　戦後不況

大正8年　　第二期工事着工 ═ 4突東半 ～ 6突および兵庫1・2突

大正8年　　都市計画法実施

大正9年　　阪急電車開通（上筒井まで）

大正10年　　川崎造船・三菱造船の労働大争議。周辺の耕地整理ほぼ完了。

大正11年4月24日　神戸市都市計画区域決まる。須磨～本庄・本山に至る134㎢

大正12年9月　関東大震災で横浜潰滅 ―→ 神戸急上昇

神戸港、国指定重要港湾となる

大正13年　　神戸タワー開業

大正15年　　普通選挙法・治安維持法。市会による市長選出はじまる。

大正末期の神戸港

（大正12年測図）

3. 破滅への道 ―――― 昭和前期 ――――

昭和に入ると恐慌と、軍国主義の動きは、神戸もその渦にまきこみました。神戸は市域拡大を続け、区制を実施し、人口は昭和１４年には百万人を突破しました。しかし、その間に、昭和１３年の阪神大水害や第二次世界大戦の米軍による空襲などの苦しい歴史を体験しました。

(1) 六甲村・西灘村・西郷町合併のころ

昭和２年　金融恐慌・大資本進出。鈴木商店破産。
　　阪神国道および国道電車できる。
昭和４年４月１日　六甲村・西灘村・西郷町合併。しかし 61 %は山地。
　　第１回普通選挙法による市会議員選挙。表六甲ドライヴウエイできる。
昭和５年　市バス誕生。　神戸・東京間に特急「つばめ」走る。
昭和６年　満州事変おこる。

(2) 区 制 実 施　　昭 和 6 年 9 月 1 日　　8 区

このころ
六甲ロープウエイ開通
三越・大丸・そごう
神戸銀行などできる。

昭和　７年　中央市場・市民運動場できる
昭和　８年　第１回みなとの祭
昭和１０年　再度公園・須磨浦公園
昭和１１年　阪神電車元町へ
昭和１２年　日中戦争はじまる
昭和１３年　阪神大水害（死者６１６名、負傷者 1,011人、被害１億4399万円）
昭和１４年　人口１００万人突破
昭和１６年　明石郡垂水町を編入（昭和９年～合併問題）
　　この年、太平洋戦争に突入。国民学校令・米の配給制。
昭和１７年　明石郡六ケ村との仮調印（伊川谷、櫨谷、押部谷、
昭和１８年　行政区域改正協議会 ↓　玉津、平野、神出）
昭和１９年３月７日　「決戦非常措置令」町村合併中断
　　金属供出、校庭菜園、学童疎開。
昭和２０年３月１７日　大空襲　６０機のＢ２９、市街地西半大被害
　　５月１日　区制改革　　６区に
　　６月５日　大空襲、市東部焼失。市域の６０％罹災、
　　やけ出された人４７万人。全区役所焼失。

垂水町人口		
昭	5	13,586人
昭	10	17,214人
昭	15	24,403人

4. 蘇 生 神 戸 ――――昭和後期――――

戦後の神戸は戦災の痛手からの復興から、新しい歴史をふみだしました。市域の大拡張とともに経済も回復、とくに昭和40年代の経済の高度成長の中で、山あいを開いて住居地を築きその土砂で埋め立て地を造成するなど、神戸は大発展。しかし、環境問題や、自然保護の問題もでてきました。様々な問題を一つ一つ解決しながら、明日の神戸を築いていかねばなりません。

昭和20年5月の
区域改正

被災前後の区別人口

区	19年2月22日 人口	20年11月1日 人口	対19年比率
灘区	152,713人	70,636人	46.2%
葺合区	107,610	17,914	16.3
生田区 兵庫区	305,905	27,411 70,644	32.1
長田区	209,446	112,992	53.9
須磨区	108,846	44,873	41.2
垂水区	33,512	34,102	101.7
計	918,032	378,592	41.2

資料：企画局

（『市政白書'79』より）

(1) 戦後復興と垂水区の成立

昭和20年11月　人口38万人。ガード下にやみ市、狭小すぎる市域。

昭和21年		利用面積
神戸	111.05 km²	46.02
大阪	187.37	187.37
京都	288.65	152.99
横浜	400.97	360.87
名古屋	160.13	160.13

昭和20年～占領軍による自由化・民主化
昭和21年　五大都市に特別市制
昭和21年12月9日　半経20km案で
西部　10カ町村
北部　3カ町村　と仮調印
明石市や東部3カ町村は反対。

昭和21年11月　垂水区の独立
昭和22年3月1日　西北神1町9カ村の合併
（大久保・二見・魚住は昭和26年に明石市と合併）
5月3日　日本国憲法施行、新学校制度発足。

(2) 東灘区の成立

昭和25年　朝鮮戦争おこり、以後、日本経済回復。占領政策の変化。
この年、王子・湊川公園で神戸博覧会。ジェーン台風くる。
再燃・東部5カ町村の併合問題　　戦前からの第三期工事（戦中に中断）　経済の再生
昭和25年4月1日　御影町・住吉村・魚崎町　合併 ―――――― 復興事業
10月10日　本庄村・本山村　〃 → 五大市中2位
昭和26年　神戸港の管理は市へ移る。王子動物園開かれる。

(3) 西・北神への市域拡大

o 北神合併

昭和２６年　７月　１日　道場村・八多村・大沢村の編入
昭和２８年　９月　１日　町村合併促進法公布
昭和３０年１０月１５日　長尾村の編入
昭和３１年　６月３０日　新市町村建設促進法公布
昭和３３年　２月　１日　淡河村の編入

o 市域拡大おわる ――― 明石市合併の失敗

昭和２９年５月１９日、明石市へ申し入れ

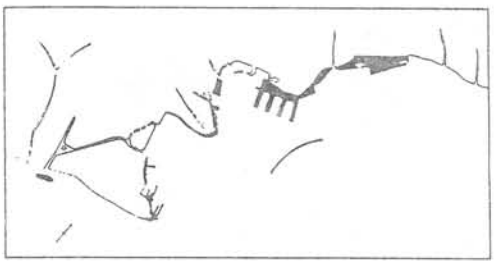
「格別の努力を尽し、交渉あっせん大いにつとめ（神戸市史 第3集 行政編 P.136）」

明石市会の混乱

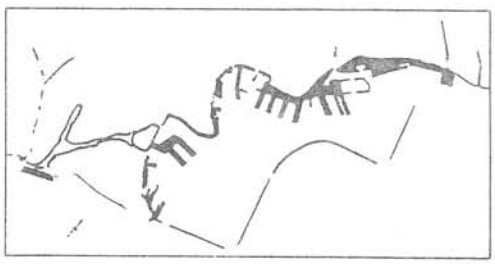
昭和３１年1月２３日　住民投票

「反対派が多数を占めるにいたった。（同書 P.137）」

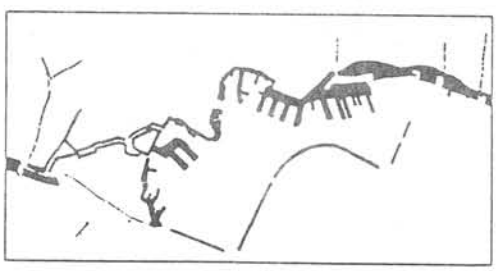
― 神戸港の変遷 ―



大正12年頃の神戸港



昭和15年頃の神戸港

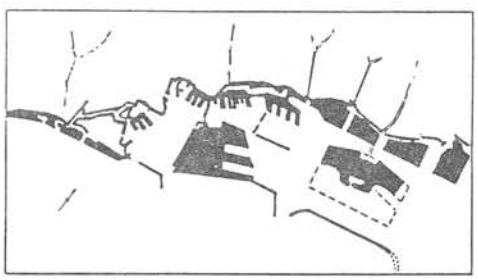


昭和34年頃の神戸港

（『神戸港のあらまし』より）

歴史年表

慶応３年	1868	兵庫開港。
明治元年	1868	運上所業務を開始。
明治39年	1906	第１期修築工事着工，新港第1～4(西)突堤（大正11年竣功）
大正８年	1919	第２期修築工事着工，新港第4(東)・第５～６・中・兵庫第１～２突堤（昭和14年竣功）
大正12年	1923	指定重要港湾となる。
昭和029年	1954	新港第８西突堤着工（昭和034年竣工）
昭和032年	1957	長田港建設着工（昭和036年竣功）
昭和033年	1958	兵庫第３突堤着工（昭和040年竣功）
昭和034年	1959	摩耶埠頭着工（昭和042年竣功）
昭和041年	1966	ポートアイランド着工
昭和042年	1967	開港百年祭記念式典，シアトル・ロッテルダム港との姉妹港提携式が行われる。
昭和055年	1980	六甲アイランド使用開始。天津港との友好港提携式が行われる。
昭和056年	1981	ポートアイランド竣功。



現在の神戸港

(4) 現代の神戸の動き

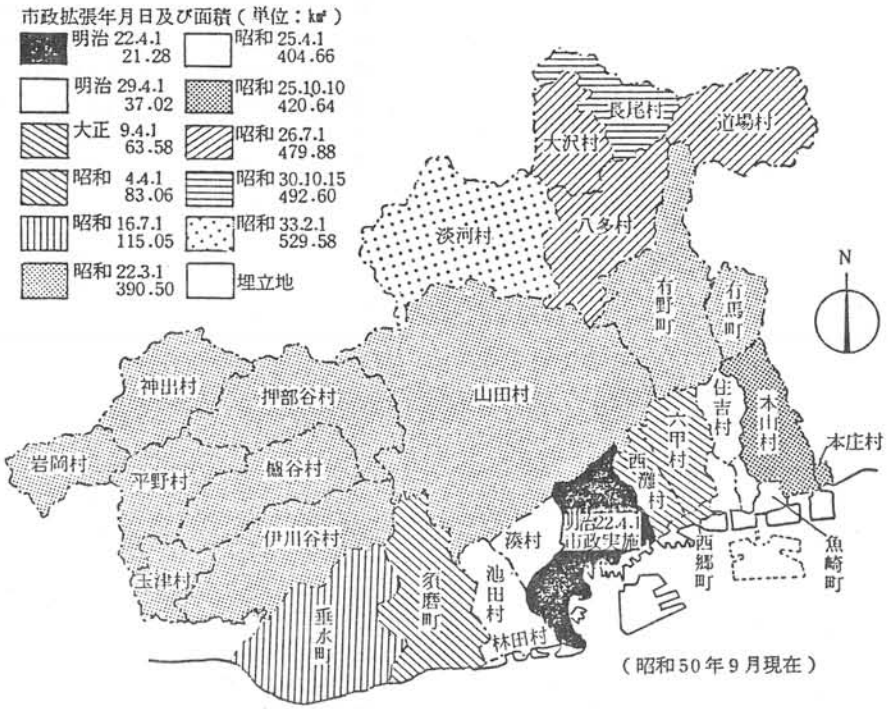
年	代	市政の動き	市内のできごと	その他
1950	25年	神戸博開催（王子、湊川公園） 御影町・住吉村・魚崎町・本庄村・本山村を合併	ジェーン台風	朝鮮戦争 金閣寺焼失
1951	26年	神戸港の管理が国から市に移管される 道場・八多・大沢村を合併	須磨海浜公園開園、動物園が王子に移転、パチンコ大流行	
1953	28年	阪神上水道引水トンネル完成		テレビ放送開始 エレベスト初登頂成る
1955	30年	有馬郡長尾村を合併 市警察を県警察に編入	ウエストキャンプ引き渡し 摩耶ロープウェイ開通	〝太陽族〟の流行
1956	31年	第11回国民体育大会開催 六甲山、瀬戸内海国立公園に編入		国際連合加盟
1957	32年	新市庁舎（現在地）完成 花時計始動 シアトルと姉妹都市提携		
1958	33年	淡河村・上淡河村を合併	「街を静かにする運動」展開	１万円札発行 フラフープ流行
1960	35年	神戸市営競輪廃止	南米移住者、ぶらじる丸で出港	カラーテレビ放送開始
1961	36年	マルセイユと姉妹都市提携		
1962	37年	裏六甲有料道路開通	灘生協と神戸生協合併し灘神戸生活協同組合となる	
1963	38年	税関線の愛称「フラワーロード」に決まる 妙賀山環境工場完成	ポートタワー完成	新1,000円札登場
1964	39年	須磨のベルトコンベヤー完成 「光のまち神戸」運動展開	ジャンジャン市場撤去 神明バイパス開通	新幹線営業開始 東京オリンピック大会
1965	40年	阪神間の海水浴場廃止で、須磨がただひとつ残る 中央体育館オープン	さんちかタウン完成	
1966	41年	摩耶大橋開通	市電税関線廃止	国民祝日法改正公布
1967	42年	神戸開港百年祭、六甲山トンネル開通 須磨離宮公園開園	山陽電車内で時限爆発時件発生	
1968	43年	ポートアイランド起工 マルク債発行	神戸高速鉄道が開通 有馬温泉で大火	３億円事件
1969	44年	リオと姉妹都市提携、西神戸有料道路開通	貿易センタービル完成	アポロ、月着陸成功
1970	45年	神戸大橋・ポートターミナル完成	さんプラザビル完成	日本万国博開催
1971	46年	市電、全線廃止 第１回神戸まつり開催	ＰＣＢ汚染深刻化	沖縄返還協定調印
1972	47年	六甲アイランドおよび西神ニュータウンの造成工事着工 人間環境都市宣言		冬季札幌オリンピック大会 浅間山荘事件
1973	48年	北区発足、神戸文化ホール完成 天津と友好都市提携	石油ショックでトイレットペーパーパニック	節電のため、盛り場のネオンが消灯
1974	49年	区民会議始まる リガと姉妹都市提携	サンこうべ完成	
1975	50年	インフォメーションこうべオープン	センタープラザ完成	沖縄国際海洋博覧会
1976	51年	新・神戸市総合基本計画できる 新神戸トンネル開通、海づり公園オープン	中華人民共和国展覧会開催	５つ子誕生
1977	52年	地下鉄西神線開通、心身障害福祉センターオープン	異人館ブームがおこり北野に観光客が増加	王選手本塁打世界記録
1978	53年	王子総合スポーツセンターオープン	文化財が続々と発掘	日中平和友好条約発効
1979	54年	神戸フィルハーモニック誕生	下谷上農村歌舞伎舞台復元	国公立大共通一次学力試験始まる
1980	55年	中国天津港と友好港提携 中央区発足	太山寺トンネル開通	モスクワ五輪に日本不参加
1981	56年	新交通システム「ポートライナー」運転開始 ポートピア'81開催、神戸室内合奏団発足	国鉄三ノ宮ターミナルビル 駅前広場完成	ルービックキューブ大流行
1982	57年	西区発足 市立博物館・プラネタリウム館オープン	南京町に楼門完成	500円硬貨発行
1983	58年	六甲北有料道路開通 地下鉄山手線（新長田～大倉山間）開通		
1984	59年	青少年科学館・森林展示館オープン		各地で豪雪被害 グリコ事件

市域拡大の変遷

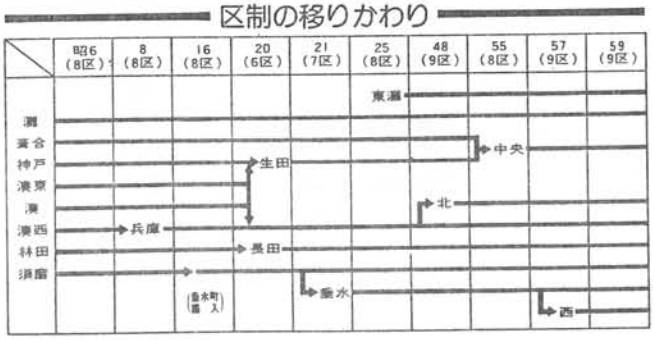
年　月	編入地域	編入面積	編入時の人口
		km²	
明治22．4．1	市制実施	…	…
29．4．1	湊村，林田村，池田村	24.35	23,249
大正 9．4．1	須磨町	19.29	60,163
昭和 4．4．1	西郷町，六甲村，西灘村	31.99	23,140
16．7．1	垂水町	275.45	a）58,968
22．3．1	有馬町，有野町，山田村，伊川谷村，櫨谷村，押部谷村，玉津村，平野村，神出村，岩岡村	11.82	b）83,937
25．4．1	御影町，魚崎町，住吉村	15.93	
10.10	本庄村，本山村		
26．7．1	道場村，八多村，大沢村	59.15	b）9,141
30.10.15	長尾村	13.07	c）2,013
33．2．1	淡河村	37.69	5,003

資料：神戸市市長室
a）21年4月26日現在　b）25年10月1日現在　c）30年10月1日現在

神戸市域の変遷図（新神戸市総合基本計画）



区制の移りかわり



もっとくわしく学ぼうという人のために

図書館・図書コーナー

中央図書館　中央区楠町7－2－1　☎371－3351(代)
⇨相談室　☎341－6737
東灘図書館　東灘区岡本1－7－3　☎452－4001
王子図書館　灘区王子町3－1－2　☎871－2918
三宮図書館　中央区雲井通5－1－2（勤労会館1階）　☎251－5015
北図書館　北区鈴蘭台西町1－22－1（北区民センター2・3階）　☎592－7573
長田図書館　長田区池田上町38　☎691－1600
須磨図書館　須磨区中島町1－2－3（須磨区民センター1階）　☎735－7444
西図書館　西区伊川谷町潤和1056（西神文化センター4階）　☎974－1470
自動車文庫　中央区楠町7－2－1（中央図書館資料課奉仕係）☎371－3351
東灘文化センター図書コーナー　☎453－0151
東灘区魚崎中町4－3－16
北須磨文化センター図書室　☎791－0840
須磨区中落合3－1－2
垂水年金会館図書コーナー　☎752－4181
垂水区平磯1－2－5
婦人問題資料室
中央区橘通3－4－1　婦人会館内
☎351－0861（土・日・祝日休室）

〈図書館・図書コーナーの休館日〉
毎週月曜日（ただし、西図書館と垂水年金会館は日曜日休館）の定休日のほか、毎月20日、祝日は休館。なお、休館日が重なった場合は翌日も休館。

美術館・博物館など

（★印は有料）

区	施設名	所在地	連絡先	開館・休館
東灘	神戸深江生活文化史料館	深江本町3－5－7	☎411－0475	土・日のみ開館
	神戸商船大学海事資料館	深江南町5	☎453－2332	日曜・祝日休館、予約制
	白鶴美術館	住吉山手6－1－1	☎851－6001	★春・秋2回開館、月曜休館
	灘神戸生協生活文化センター資料室	田中町5	☎451－1831	日曜・祝日休館
	香雪美術館	御影町郡家字石野285－2	☎841－0652	★春・秋2回開館
	菊正宗酒造記念館	魚崎西町1	☎851－2275	1～3月開館
	白鶴酒造資料館	住吉南町4－5－5	☎841－4105	土・日・祝日休館
	甲南漬資料室	御影塚町4－4－8	☎841－1821	無休
灘	沢の鶴資料館	大石南町1－29－1	☎882－6333	水曜休館
	県立近代美術館	原田通3－8－30	☎801－1591	★月曜休館
中央	うろこ美術館	北野町2－20－4	☎222－6338	★無休
	ペルシャ美術館	北野町2	☎222－0081	★無休
	北野らんぷ博物館	山本通2－50－1	☎241－1300	★無休
	竹中大工道具館	中山手通4	☎242－0216	★月曜休館
	市立博物館	京町24	☎391－0035	★月曜・祝日休館
	五番本部資料室	新港町第5管区海上保安本部3階	☎391－6551	日曜・祝日休館、予約制
	神戸華僑歴史博物館	海岸通3　KCCビル2階	☎331－3855	★無休
	ポートアイランド記念館	港島中町4－1－1 ポートアイランドビル12階	神戸市開発管理事業団 ☎302－2361	月曜休館
	青少年科学館	港島中町7－7－6	☎302－5177	★水曜・第4木曜休館
	エスパス・ビジュウ	港島中町6	☎302－3321	日曜・祝日休館
	下水道展示館	港島中町8 ポートアイランド処理場内	☎302－0425	日曜・祝日休館
	神戸国際港湾博物館	波止場町5－4	☎391－6751	★無休
	兵庫県陶芸館	下山手通4－5－1	☎321－0769	★月曜休館
	中央図書館戦災記念資料室	楠町7	☎371－3351	毎月5・17日開館
	人形の家	楠町3　婦人会館5階	☎351－0861	第1・3日曜休館
	湊川神社宝物館	多聞通3	☎371－0001	★無休
北	農村民具農具館	山田町原野字北子	※農政局計画課	無休
須磨	白川小学校郷土資料室	白川台7	☎792－2619	予約制
	須磨寺宝物館	須磨寺町4	☎731－0416	★無休
西	吉田郷土館歴史資料展示室	枝吉4	☎927－7815	月曜休館
	寺谷ファームズ民具農具展示館	櫨谷町寺谷	西農政事務所 ☎929－0001	4・5・9・10・11月の日曜・祝日開館
	長福寺考古資料館	押部谷町養田369	☎994－0150	無休
	長明寺土鈴コレクション	神出町東825	☎965－0067	無休

あとがき

本書は、はじめ神戸市の新規採用職員の方々のための研修教材として編集したものです。講義のレジユメとして編んだものですから、項目のら列にすぎず不充分なものでしたが、その後、これを見られた学校の先生方や市民の皆さまから、郷土の歴史学習の教材や、市民講座のテキストにほしいという、多くのご依頼がありました。

そこで、神戸市の職員研修所の承諾をえて、このような形で公刊することになりました。

その後、たくさんの方にご利用いただきましたが、今回、新しく編集しなおすことになりました。

このような小冊子ですが、身のまわりの歴史ふるさと神戸の勉強に、いささかでもお役立てくだされば幸甚です。

編　著　者

神戸の歴史ノート

昭和57年8月10日　初版発行
昭和63年5月1日　改訂5版発行

編著者　田辺眞人

発行所　神戸深江生活文化史料館
神戸市東灘区深江本町3丁目5−7
TEL（078）453−4980

印刷所　印刷ショップフタバ

頒価250円

街かどのミニ歴史博物館へどうぞ

▶生活文化史料館は、旧深江村の史誌を編集していくあいだに収集された数多くの生活文化史の資料を収蔵・展示しています。1階と2階に「通史」「昔の生活」「民具」「深山記念医事史料」「神戸商船大学海事資料」の5展示室があります。3階のミニホール「クリオルーム」では講演会や絵画展・写真展などを開いています。

▶史料館をささえる友の会は、見学会やバスツアーなどを催します。

▶また史料館では、太平洋を囲む国々の地域の歴史の博物館との交流や地方史の研究者との文通などを通じて、市民の手で、国際親善にもつとめています。

▶東神戸の歴史センターともいうべきこの生活文化史料館を、学校での郷土学習や地域文化の研究にぜひご利用ください。

▶入館無料

▶クリオルームでの児童の絵画展や書道展、先生方の個展などのご計画があれば、史料館員にお気がるにご相談ください。電気代の実費ていどでご協力します。

▶100名以上の団体での見学には、神戸商船大学の進徳丸見学などと組み合せられるといいでしょう。

土・日ようび（予め連絡があれば平日も）午前10時から午後5時まで開館。電話連絡も土・日ようびに！　☎（453−4980）

▶阪神深江駅前東南◀

KOBE FUKAE **FOLKLORE MUSEUM**

神戸深江**生活文化史料館**

頒価 250円